

東京農業大学大学院 学生募集要項

研究科目的	1
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1. 入試制度	12
2. 入学定員・募集人員	13
3. 入学試験日程	14
4. 選抜方法・出願資格	15
5. 出願手続きの流れ	17
6. 出願時提出書類	18
7. 試験科目	20
8. 英語外部試験の導入について	23
9. 試験当日に関して	24
10. 合格発表	25
11. 入学手続	26
12. 学費	27
13. 大学院奨学生制度	29
14. 出願資格認定	30
15. 長期履修制度	31
16. 個人情報保護について・問い合わせ先	32

出願にあたっての重要事項

○出願を希望する方は、出願前に必ず希望指導（准）教授と面談し、今後の研究計画及び研究内容について相談をしてください。

○出願には「オンライン申請（WEB 出願）」と「書類の提出」の両方が必要です。

オンライン申請における不明点は学務課（innogaku@nodai.ac.jp）までご連絡ください。

※WEB 出願システム上でお問合せいただいても回答できません。必ずメールでお問い合わせください。

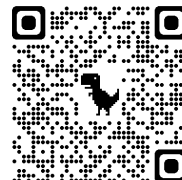
※オンライン申請以外の問い合わせは各キャンパスの担当部署へご相談ください。（最終頁記載）

各教員のメールアドレス・出願方法については

下記 URL または右記 QR コードから確認してください。

<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/application/>

※試験日程・内容等に変更が生じた場合は、東京農業大学大学院ホームページ「お知らせ」に掲載します。



研究科目的（大学院学則より抜粋）

【農学研究科】

本大学院農学研究科は、国内外の農学諸分野におけるフロンティアとして、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者及び高度専門技術者の人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物資源、生命科学、環境科学、健康科学並びに経営・経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【応用生物科学研究科】

本大学院応用生物科学研究科は、人と環境が調和する生活を多元的に支える応用生物科学領域における高度な知識・技術・研究能力を身に付けた人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物生産・生物資源利用から食料・健康・環境・エネルギーといった広域の農学分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【生命科学研究科】

本大学院生命科学研究科は、生命科学の学問領域において、その基本的な能力を身につけた人材が、微生物から高等生物に至るまで分子レベルでの機能解析や生物機能を制御する分子の創製などにおいて、より専門的な知識、技術、思考力を備えることで、地球規模での持続的な成長を実現するための問題解決に対応することが可能な能力を習得させることを目的とする。

【地域環境科学研究科】

本大学院地域環境科学研究科は、身近な地域から地球規模に至るまでの地域環境に関する諸問題における高度な理解力と課題解決のための専門知識、ならびに調和のとれた地域環境を構築するための生物資源の保全・利用・管理に関する専門知識と専門技術、さらに取り扱う諸問題の社会的意義を自覚し、責任感を持って課題解決にあたる事が出来る高度な倫理観と使命感を習得させることを教育研究上の目的とする。

【国際食料農業科学研究科】

本大学院国際食料農業科学研究科は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学および経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組む柔軟な判断力と分析能力および国際的視野に立った社会貢献の遂行能力を修得させることを目的とする。

【生物産業学研究科】

本大学院生物産業学研究科は、幅広い学問領域の知識を備え、高度な専門知識と能力および創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ人材の育成を目指し、生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【大学院】

東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。

【博士前期課程】

- (1) 希望する専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 希望する専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

- (1) 希望する専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者・教育者あるいは高度な専門家として、国際的にも社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

☆厚木キャンパス

【農学研究科】

農学研究科博士前期課程は、農学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 農学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

農学研究科博士後期課程は、農学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【農学専攻】

【博士前期課程】

農学専攻博士前期課程は、作物、育種、植物病理、園芸作物、農業環境、ポストハーベストなどの農学全般に関する基礎学力を有し、明確な目的意識と探求心をもって研究を進めようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 農学全般にかかわる学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 周囲との協調性を保つコミュニケーション能力とともに、研究室内での指導性を発揮できる能力を有している。
- (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは専門技術者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

農学専攻博士後期課程は、農学に関する専門的な学識と基礎的な研究能力を有し、将来、農学における専門職業人・研究者として活躍し、地域社会や国際社会に貢献しようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 農学全般および各専門分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施、成果を発信できる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【動物科学専攻】

【博士前期課程】

動物科学専攻博士前期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 畜産・動物科学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関する高次元な知識・技能の獲得に関する強い意欲がある。
- (3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。
- (4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。

【博士後期課程】

動物科学専攻博士後期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、様々な問題に対して高度な解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 畜産・動物科学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関するより高次元な専門的知識・技能を獲得し、国際的に活躍する

ことに関する強い意欲がある。

(3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。

(4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。

【生物資源開発学専攻】

〔博士前期課程〕

生物資源開発学専攻博士前期課程では、生物多様性と生物資源の保全および利活用に興味を持ち、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めている。

(1) 生物資源開発学分野における学修が可能な四年制大学程度の学力を有している。

(2) 生物資源開発学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。

(3) 専門的な学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。

(4) 生物多様性や生物資源に関心を持ち、その保全・管理および開発に関わる様々な課題の解明に取り組む高い意欲がある。

〔博士後期課程〕

生物資源開発学専攻博士後期課程では、生物多様性と生物資源の保全および利活用に興味を持ち、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献する高度な人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

(1) 生物資源開発学分野における学修が可能な修士課程または博士前期課程修了程度の学力を有している。

(2) 生物資源開発学分野における学修や研究活動を可能にする語学力を有している。

(3) 専門的な学修や研究活動を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。

(4) 生物多様性や生物資源に関心を持ち、その保全・管理および開発に関わる様々な課題の解明に取り組み、かつ国際的に活躍できる高い意欲を有している。

【デザイン農学専攻】

〔博士前期課程〕

デザイン農学専攻博士前期課程では、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備える人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

(1) デザイン農学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。

(2) 国内学におけるデザイン農学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。

(3) デザイン農学分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。

(4) デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に高い意欲がある。

〔博士後期課程〕

デザイン農学専攻博士後期課程では既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を養成することを目的とする。そのため、本専攻では次のような学生を求めている。

(1) デザイン農学分野における学修が可能な大学院修士課程及び博士前期課程修了程度の学力を有している。

(2) 国内外におけるデザイン農学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。

(3) デザイン農学分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。

(4) デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に高い意欲がある。

(5) 国際的に活躍できる研究者・教育者を志している。

☆世田谷キャンパス

【応用生物科学研究科】

応用生物科学研究科博士前期課程は、応用生物科学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 応用生物科学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

応用生物科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした応用生物科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程・修士課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【農芸化学専攻】

【博士前期課程】

農芸化学専攻博士前期課程では、研究課題を多面的に捉え、新たな発想を積極的に研究に取り入れることにより、人類の生活にかかわる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 農芸化学の諸分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 農芸化学の諸分野に対する強い関心を持ち、食・健康・環境に関わる様々な現象の解明にチャレンジする高い意欲がある。

【博士後期課程】

農芸化学専攻博士後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 農芸化学の諸分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 食・健康・環境に関わる研究を推進できる知識と技術を有している。
- (3) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる語学力を有している。
- (4) 研究者や高度専門職業人としての活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (5) 農芸化学の諸分野における研究者や高度専門職業人としてリーダーシップを発揮し、独創的な発想と問題解決に取り組む意欲がある。

【醸造学専攻】

【博士前期課程】

醸造学専攻博士前期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味を有している。
- (2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の発展に専門職業人として貢献する意欲を有している。
- (3) 醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、及び醸造環境科学などの専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。

【博士後期課程】

醸造学専攻博士後期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、研究者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能

力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味がある。
- (2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の分野に研究者として携わることを志している。
- (3) 醸造学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓にチャレンジする意欲がある。

【食品安全健康学専攻】

〔博士前期課程〕

食品安全健康学専攻博士前期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして指導的立場で社会に貢献したいとする強い意志をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが主体となり解決したいという強い意欲を有している。
- (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、得られた成果を社会に向けて発信し、貢献したいという意欲を有している。
- (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断することができる。

〔博士後期課程〕

食品安全健康学専攻博士後期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして高度に指導的な立場で社会に貢献したいとする強い意志と国際的な視野をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが課題を発見し、主体となって解決したいという強い意欲を有している。
- (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、国際社会に貢献したいという意欲を有している。
- (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断し、国際的な場で発表する素養がある。

【食品栄養学専攻】

〔博士前期課程〕

食品栄養学専攻博士前期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し、社会で活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 管理栄養士の有資格者に加え、食品学や栄養学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 人の健康づくりにかかわる食品の研究、健康者・傷病者の食生活や栄養状態の改善に関する研究に強い意欲がある。
- (3) 研究や行政、教育、医療分野などで高度な専門職業人として貢献する志を有している。
- (4) 豊かな人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を有している。

〔博士後期課程〕

食品栄養学専攻博士後期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を獲得し、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、広く国内外でリーダーとして活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 食品学や栄養学分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 問題設定および問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲がある。
- (3) 国内外に研究成果を発信できる語学力を有し、社会に貢献しようとする強い意欲がある。
- (4) 高度な専門家として活躍しうるコミュニケーション能力を有している。

【生命科学研究科】

生命科学研究科博士前期課程は、生命科学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学の当該専攻分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 既修の知識をもとに、さらに専門性を深めようとする強い意欲を有している。
- (3) 継続的に自ら問題を見つけ出し、その解決に貢献しようとする意欲を有している。
- (4) 広い視野、豊かな人間力、倫理観、コミュニケーション力を持ち、他と協力してそれを高めようとする意欲を有している。

生命科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした生命科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 希望する専攻分野にかかわる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。
- (3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者など高度専門職者として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【バイオサイエンス専攻】

〔博士前期課程〕

バイオサイエンス専攻博士前期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、生命科学分野における基礎的問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 生命科学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

バイオサイエンス専攻博士後期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、生命科学分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野にかかわる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。
- (3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 生命科学分野における研究者、教育者など高度専門職者としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【分子生命化学専攻】

〔博士前期課程〕

分子生命化学専攻博士前期課程は、様々な現象に対する論理性・客観性に基ついた科学的判断が可能であり、倫理観に裏付けされた研究意欲を持ち、農学・生命科学領域における問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 化学を中心とする伝統的科学に興味と学習意欲があり、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

分子生命化学専攻博士後期課程は、化学の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、分子生命化学分野における高度な問題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 分子生命化学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる基礎的な語学力を有している。

- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 分子生命化学分野における研究者、教育者あるいは高度な専門家としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【分子微生物学専攻】

【博士前期課程】

分子微生物学専攻博士前期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

分子微生物学専攻博士後期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【地域環境科学研究科】

地域環境科学研究科博士前期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する幅広い知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法を考究できる、また持続可能な地域づくりを推進できる高度専門人材の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する4年制大学卒業程度の知識を有している。
- (2) 環境に関する諸問題の解決に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。
- (3) 問題解決に向けて自らチャレンジする意欲を有している。
- (4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。

地域環境科学研究科博士後期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する高度専門知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法に関して、また持続可能な地域づくりの推進に関わる高度専門研究者の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識を有している。
- (2) 環境に関する諸問題の研究に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。
- (3) 研究に自らチャレンジする意欲を有している。
- (4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。

【林学専攻】

【博士前期課程】

林学専攻博士前期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 森林、林学、林産学、農山村に関する専門領域において、4年制大学卒業程度の基礎的な学力を有している。
- (2) 森林の保全と多面的機能の高度利用、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有している。

【博士後期課程】

林学専攻博士後期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人材を育成します。そのため、

本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 林学、林産学などを基礎とし、森林資源保全学、森林環境工学、森林資源利用学、森林社会科学などの専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな知識と研究能力を有している。
- (2) 生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有している。

【農業工学専攻】

〔博士前期課程〕

農業工学専攻博士前期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に興味を有している。
- (2) 農業工学の専門領域において、4 年制大学卒業程度の基礎的な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に技術者として貢献したいという強い意欲を有している。
- (3) 地域資源利用学、生産環境・計画学、施設工学、農業生産システム工学における専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。

〔博士後期課程〕

農業工学専攻博士後期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、研究者または高度な技術者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に深い興味を有している。
- (2) 農業工学の専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の高度な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に、研究者として、また高度な技術者として、貢献したいという強い意欲を有している。
- (3) 農業工学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓に挑戦する意欲を有している。

【造園学専攻】

〔博士前期課程〕

造園学専攻博士前期課程は、造園学に対する興味と意欲を有し、都市から自然地域における快適環境をもたらすための知識と課題解決能力をもって研究を推進できる人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 造園学関連分野の学修が可能な4 年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や、研究活動を実施する上での基本的な語学・文章・表現力を有している。
- (3) 協調性やコミュニケーション能力を有するとともに、研究環境でのリーダー性を発揮できる能力を有している。
- (4) 研究者、教育者、技術者として豊かな地域社会と社会資本の形成に貢献しようとする明確な問題意識と、学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

造園学専攻博士後期課程は、都市から自然地域においての快適環境をもたらすための課題解決能力や造園学に関連する高度な学識と研究能力を有し、地域社会や国際社会において研究者、教育者、技術者として活躍、貢献、評価される人材を育成する。本専攻では次のような学生を求めている。

- (1) 造園学及び関係専門分野において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな学力を有している。
- (2) 国内外において十分な研究活動を実施・展開し、その成果を広く社会に発信できる語学・文章・表現力を有している。
- (3) 研究者、教育者、高度な専門技術者として活躍し、良好な関係性を構築できるコミュニケーション能力を有している。
- (4) 造園学の専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と強い学修意欲を有している。

【地域創成科学専攻】

〔博士前期課程〕

地域創成科学専攻博士前期課程は、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するために、地域創成科学に関する専門知識と研究能力を身に付け、地域社会のリーダーとなる人材を育成する。そのため、本専攻では以下のような人材を求めている。

- (1) 自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、4 年制大学卒業程度の基礎学力を有する者。
- (2) 農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有する者。

〔博士後期課程〕

地域創成科学専攻博士後期課程では、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するために、地域創成科学に関する

高度な専門的応用知識と研究能力を身に付け、地域社会が抱えるさまざまな課題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、修士課程修了程度の基礎学力および研究能力を有している。
- (2) 農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【国際食料農業科学研究科】

国際食料農業科学研究科博士前期課程は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学及び経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組める国際的人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 食料農業科学とその国際的实践に関連した当該専攻分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として国際的視野に立って社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

国際食料農業科学研究科博士後期課程は、食料農業科学とその知見の現場への適応を通じて国際的視野に立った社会貢献に対する意義を理解し、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 食料・農業・環境領域の当該専攻分野における修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に関する研究に対する強い関心を持ち、研究者、教育者あるいは専門家として研究成果を国内及び国際社会に還元し、貢献しようとする広い視野、明確な問題意識及び強い意欲を有している。

【国際農業開発学専攻】

〔博士前期課程〕

国際農業開発学専攻博士前期課程は、問題の解決を図るための論理的思考力と実践力、さらには異なる文化や習慣を理解し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めています。

- (1) 国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持っている。
- (2) 自然科学と社会科学の両領域にわたる基礎的な知識のレベル（4年制大学卒業程度）と、今後の知識修得への意欲を有している。
- (3) 異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している。
- (4) 国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。

〔博士後期課程〕

国際農業開発学専攻博士後期課程は、広範な学問領域を統合する総合的なアプローチと実践的で国際的な視野を修得し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めています。

- (1) 国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持ち、未解決の問題の解決にリーダーシップを発揮して取り組むことに強い意欲を有している。
- (2) 自然科学と社会科学の両領域にわたる総合的な知識のレベル（修士課程又は専門職学位課程修了程度）と、今後の知識修得への意欲を有している。
- (3) 異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している。
- (4) 国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。

【農業経済学専攻】

〔博士前期課程〕

農業経済学専攻博士前期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 経済学に関する4年制大学卒業程度の基本的な学力を有している。
- (2) 専門領域における知識や研究方法の基本的な学力を有している。

- (3) 日本人は英語、外国人は日本語の基本的な語学力を有している。
- (4) 食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【博士後期課程】

農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識や研究方法を修得している。
- (2) 第二言語として英語または日本語のより高度な運用能力を有している。
- (3) 研究資料を得るためのコミュニケーション能力を有するとともに、それらを緻密に整理できる能力を有している。
- (4) 食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって率先して問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【国際アグリビジネス学専攻】

【博士前期課程】

国際アグリビジネス学専攻博士前期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 一定の語学力と国内外のアグリビジネスに対する基礎知識を有している（4年制大学卒業程度）。
- (2) アグリビジネスの持続的発展への貢献に強い意欲を有している。
- (3) 国際的なコミュニケーション能力の向上を目指している。

【博士後期課程】

国際アグリビジネス学専攻博士後期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における複雑な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 一定の語学力とアグリビジネス学にかかわる基礎理論及び基本的研究手法を修得している（修士課程又は専門職学位課程修了程度）。
- (2) 新たな理論の開発やフィールド研究に取り組む意欲を有している。
- (3) アグリビジネス学においてグローバルな貢献を目指している。

【国際食農科学専攻】

【博士前期課程】

国際食農科学専攻博士前期課程は、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 国際食農科学の当該分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 国際食農科学の発展への貢献に強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

国際食農科学専攻博士後期課程では、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における困難な問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 国際食農科学の当該分野における学修が可能な大学院修士課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする高い語学力を有している。
- (3) 高度な学びと人間関係の構築を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。
- (4) 国際食農科学の発展への貢献に強い意欲を持ち、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする専門性の高い問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

☆北海道オホーツクキャンパス

【生物産業学研究科】

生物産業学研究科博士前期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な教育研究により、原料生産はもとより加工や流通・ビジネスの分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本研究科では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物産業学の当該専攻における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

生物産業学研究科博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本研究科では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【北方圏農学専攻】

〔博士前期課程〕

北方圏農学専攻博士前期課程は、北方圏の動植物資源の利用と生物資源の開発、北方圏生態系の保全、それらを活用する先進的なバイオテクノロジーを題材とする実践的な教育研究により、自然と調和した持続的な循環社会の発展や生活の質の向上に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物生産学における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における生物生産関連分野の知見を理解するための語学力と、研究を記述するための基礎的な文章表現力を有している。
- (3) 実験や調査などの日々の研究活動において、研究室の仲間や共同研究者あるいは地域の人々と和して協力する姿勢と、それを可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 北方圏における生物生産を題材とする本専攻の特色を理解し、自然に対する科学的探究心と学修意欲を有し、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と問題解決に向けた強い意欲を有している。

【海洋水産学専攻】

〔博士前期課程〕

海洋水産学専攻博士前期課程は、水産資源の宝庫であるオホーツク水圏での実践的な教育研究により、水圏の生物学、生態学および環境学に基づき、水産資源生物の保全や増養殖の分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 本専攻における学修が可能となる水産系四年制大学卒業程度の専門科目に関する基礎学力およびその応用能力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力と、専門領域における最新の知見を自ら積極的に得る努力ができる能力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力と自らの意志を適切に表現できる能力を有している。
- (4) 水圏における生物や生態系、これを取りまく環境などに対する強い関心を有し、本専攻分野の研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

【食香粧化学専攻】

〔博士前期課程〕

食香粧化学専攻博士前期課程は、豊かな生物資源を利用して社会全体の QOL（生活の質）を向上させることを目的とし、食品、香料および化粧品に関する基礎研究と製造・開発、さらにそれらの安全性の検証に挑戦できる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 研究および開発を行うにあたり、自ら積極的に行動するという意欲を有している。
- (2) 問題意識をもって研究を計画し、研究成果を論理的に考察して自分の考えをまとめ、適切に他者に伝える能力を有している。
- (3) 食品香粧学を学び、研究を行うにあたり、有機化学、食品化学、香粧品科学、生物科学、微生物学等において、必要な知識および技能を有している。
- (4) 食品香粧分野の最新動向および研究に強い関心を持ち、多様な人々と協働して学ぶことができる。

【自然資源経営学専攻】

〔博士前期課程〕

自然資源経営学専攻博士前期課程は、社会科学分野から地域資源を活用して多様な発展を遂げている地域生物産業を担う企業や関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展とそのための問題解決ができる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 経営学、会計学、マーケティングならびに経済学、そして情報処理・管理学、農学等の社会科学の分野における四年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 地域生物産業や地域社会に関連する研究テーマに積極的かつ意欲的に研究に取り組む強い意欲を有している。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション力を有し、協働して課題解決にあたることができる。
- (4) 本学の教育理念である実学主義のもと、高度な専門知識を修得し、将来、地域や組織の持続的な発展に貢献したいという強い意志を有している。

【生物産業学専攻】

〔博士後期課程〕

生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

東京農業大学大学院のディプロマ・ポリシーについては本学大学院ホームページ (<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/>) の「大学院について」→「教育研究上の目的・目標ならびに3方針」から、必ず確認してください。

1. 入試制度

(1) 2025 年 10 月入学

【一般入試】 2025 年度 10 月入学入試

(2) 2026 年 4 月入学

【一般入試】 2026 年度 1 期入試 ／ 2026 年度 2 期入試

【特別入試】 2026 年度社会人特別選抜入試（1 期・2 期）

2. 入学定員・募集人員

課程	研究科	専攻	入学定員	一般入試募集人員			特別入試 募集人員
				10月入 学	1 期	2 期	社会人
博 士 前 期 課 程	農学	農学専攻	14名	若干名	5名	2名	若干名
		動物科学専攻	12名		11名	1名	
		生物資源開発学専攻	10名		8名	2名	
		デザイン/農学専攻	8名		4名	4名	
	応用生物科学	農芸化学専攻	30名	/	27名	3名	
		醸造学専攻	20名		10名	2名	
		食品安全健康学専攻	20名		8名	6名	
		食品栄養学専攻	6名		2名	1名	
	生命科学	バイオサイエンス専攻	30名		27名	3名	
		分子生命化学専攻	20名		13名	2名	
		分子微生物学専攻	20名		18名	2名	
	地域環境科学	林学専攻	8名		7名	1名	
		農業工学専攻	8名		3名	1名	
		造園学専攻	10名		9名	1名	
		地域創成科学専攻	6名		5名	1名	
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	18名	若干名	16名	2名	
		農業経済学専攻	8名		7名	1名	
		国際アグリビジネス学専攻	10名		9名	1名	
		国際食農科学専攻	7名		3名	1名	
	生物産業学	北方圏農学専攻	7名	若干名	3名	1名	
		海洋水産学専攻	5名		4名	1名	
		食香粧化学専攻	5名		2名	1名	
		自然資源経営学専攻	3名		1名	1名	
博 士 後 期 課 程	農学	農学専攻	5名	若干名	4名	1名	若干名
		動物科学専攻	4名		3名	1名	
		生物資源開発学専攻	2名		1名	1名	
		デザイン/農学専攻	2名		1名	1名	
	応用生物科学	農芸化学専攻	5名	/	4名	1名	
		醸造学専攻	2名		1名	1名	
		食品安全健康学専攻	3名		2名	1名	
		食品栄養学専攻	2名		1名	1名	
	生命科学	バイオサイエンス専攻	5名		4名	1名	
		分子生命化学専攻	3名		2名	1名	
		分子微生物学専攻	3名		2名	1名	
	地域環境科学	林学専攻	2名		1名	1名	
		農業工学専攻	2名		1名	1名	
		造園学専攻	2名		1名	1名	
		地域創成科学専攻	2名		1名	1名	
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	2名	若干名	1名	1名	
		農業経済学専攻	2名		1名	1名	
		国際アグリビジネス学専攻	2名		1名	1名	
		国際食農科学専攻	2名		1名	1名	
	生物産業学	生物産業学専攻 (農学分野・経営学分野)	8名	若干名	5名	3名	

※募集人員が斜線の専攻は、その入試枠の募集はありません。

3. 入学試験日程

(1) 2025 年 10 月入学

1) 一般入試

☆世田谷/厚木/北海道オホーツクキャンパス

入学時期	検定料振込・ 出願手続き期間	実施研究科	入学試験日	合格発表	入学手続期間
2025 年 10 月入学	2025 年 6 月 2 日 (月) ~12 日 (木) 最終日必着	農学研究科 国際食料農業科学研究科 生物産業学研究科	2025 年 7 月 12 日 (土)	2025 年 7 月 18 日 (金)	2025 年 8 月 20 日 (水) ~21 日 (木) 最終日必着

◎出願資格認定試験日は各専攻で設定しています。詳細についてはp. 30-31「出願資格認定」を確認してください。

(2) 2026 年 4 月入学

1) 一般入試 及び 社会人特別選抜入試

☆世田谷/厚木キャンパス

入学時期	検定料振込・ 出願手続き期間		入学試験日	合格発表	入学手続期間
2026 年 4 月入学	1 期	2025 年 6 月 2 日 (月) ~12 日 (木) 最終日必着	2025 年 7 月 12 日 (土)	2025 年 7 月 18 日 (金)	2026 年 2 月 24 日 (火) ~ 3 月 4 日 (水) 最終日必着
	2 期	2025 年 12 月 1 日 (月) ~11 日 (木) 最終日必着	2026 年 1 月 24 日 (土)	2026 年 1 月 30 日 (金)	

☆北海道オホーツクキャンパス

入学時期	検定料振込・ 出願手続き期間		入学試験日	合格発表	入学手続期間
2026 年 4 月入学	1 期	2025 年 7 月 30 日 (水) ~8 月 8 日 (金) 最終日必着	2025 年 9 月 5 日 (金)	2025 年 9 月 12 日 (金)	2026 年 2 月 24 日 (火) ~ 3 月 4 日 (水) 最終日必着
	2 期	2026 年 1 月 5 日 (月) ~13 日 (火) 最終日必着	2026 年 1 月 26 日 (月)	2026 年 2 月 2 日 (月)	

◎出願資格認定についてはp. 30-31「出願資格認定」を確認してください。

4. 選抜方法・出願資格

(1) 一般入試

選抜方法：筆記試験（試験科目「一般入試筆記試験科目表」を参照）、口述試験、出身学校の成績等により選抜

出願資格：2025年10月入学入試…次の各号のいずれかの資格を有するもの。又は、2025年9月までに学位取得見込の者。
2026年4月入学入試…次の各号のいずれかの資格を有するもの。又は、2026年3月までに学位取得見込の者。

【博士前期課程】

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- ※(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- ※(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- ※(11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
 - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - ※(6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者
- ※に該当する場合は、出願前に出願資格認定試験を受ける必要があります。詳細はp. 30-31 を参照してください。

(2) 社会人特別選抜入試

選抜方法・出願資格：下記表を参照

研究科・専攻	農学研究科・応用生物科学研究科・生命科学研究科・地域環境科学研究科・国際食料農業科学研究科の全専攻		生物産業学研究科の全専攻	
課程	博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程
出願書類	一般入試出願書類一式に加え、研究計画書を提出	左記に加え、研究業績書を提出	一般入試出願書類一式に加え、研究計画書を提出	左記に加え、研究業績書を提出
出願資格	一般入試の出願資格に加えて、原則 3年間 の職業歴(社会人経験)がある者		企業等に 1年以上 勤務した者で次の要件をいずれも満たす者。 ① 大学を卒業した者 ② 企業等において志望専攻の専門分野に関する実務経験を原則として持っている者。	大学・研究所等に 2年以上 研究に従事し、所属長の推薦を受けた者で次のいずれかに該当する者。 ① 修士の学位または専門職学位を有する者。 ② 文部科学大臣の指定した者。
選抜方法	書類選考（研究計画書）	左記に加え、研究業績書も考慮	筆記試験（外国語（英語）・小論文）	筆記試験（外国語（英語））
	口述試験 （研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーションおよび専門知識に関する質疑応答を実施）	口述試験には、左記に加え、研究業績書の内容も含まれる	口述試験	口述試験（研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答含む）

5. 出願手続きの流れ

※ 「インターネットでの出願」と「書類の提出」の両方が必要です。ご注意ください。

(1) WEB 出願手続き手順（インターネット）



① 「募集要項」と「WEB出願の手引き（大学院HP掲載）」を必ず確認してください。

② 「大学出願ネット」で出願情報を登録

大学院HP（以下URL）にリンクのある「大学出願ネット」でメールアドレスや名前、住所、顔写真、志願情報などを登録し、「志願確認票」を印刷します。必ず「WEB出願の手引き」を確認の上、申請してください。

『WEB出願（大学院HP）』URL https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/WEB_Shutugan



※ 5月下旬に「WEB出願の手引き」と『WEB出願サイト』は大学院HPにて公開します。

③ 入学検定料の支払い

WEBでの「クレジットカード決済」「ペイジー」に対応しているため、ご自宅で支払が可能です。

そのほか、「コンビニエンスストアでの支払い」にも対応しています。

a. 入学検定料：30,000 円

b. 入学検定料に係わる事務手数料

クレジット：700 円 コンビニエンスストア：350 円 ペイジー：500 円

c. 注意事項

○必要書類送付用封筒に現金・小切手・郵便小為替などを同封したものは受付できません。

○入学検定料のほかに事務手数料がかかります。事務手数料は受験生負担となります。

○出願期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報が無効になります（氏名、連絡先などの個人情報 は除きます）。

○入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。

○一度納入された入学検定料および事務手数料の返金はできません。

(2) 出願手続き書類の提出

出願期間内(P. 14参照)に18ページに記載されている出願手続き書類を封筒(角2)※に入れて出願先キャンパスの窓口に出呈するか郵便局窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください（出願期間内必着）。

※封筒には「受験する研究科名・専攻名・課程、氏名」を必ず記載するようにしてください。

【提出先】

世田谷キャンパス：学務課 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

厚 木キャンパス：学生教務課 〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737

オホーツクキャンパス：学生教務課 〒099-2493 北海道網走市八坂196

(3) 受験票を印刷

大学で出願手続き（WEB・書類）の受付が完了すると、間もなく「出願完了メール」が届きます。メールの案内に従って「受験票」を印刷し、試験当日にお持ちください。

【注意事項】

・本学大学院の出願にはWEB出願手続き完了（大学出願ネット）と出願手続き書類の提出の両方が必要です。

必ず出願期間内に手続きと入学検定料の支払いをするようにしてください。

・大学出願ネットへの新規出願登録（ユーザー登録）は2025年 6月 2日(月)から可能になります。

※ 入試制度ごとの出願期間はP. 14をご確認ください。

・WEB出願手続きに関することは学務課 innogaku@nodai.ac.jp（世田谷キャンパス）にお問い合わせください。

※WEB 出願システム上でお問合せいただいても回答できません。必ずメールでお問い合わせください。

その他出願に関することは各キャンパスへお問い合わせください。

特別な配慮を要する方へ

身体機能等に不自由がある出願者は、選抜試験、入学後の修学および学生生活等において特別な配慮を必要とする場合がありますので、出願開始の1ヶ月前までに必ず各キャンパス窓口に申し出てください。

6. 出願時提出書類



募集要項・出願様式 <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form>

下記表で○または△印の出願書類※1は、市販の角型2号（240×332 ミリ）封筒に入れ、受験する研究科のある各キャンパス（学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツク学生教務課）へ提出してください。簡易書留郵便・速達で郵送（最終日必着）も受付可能です。

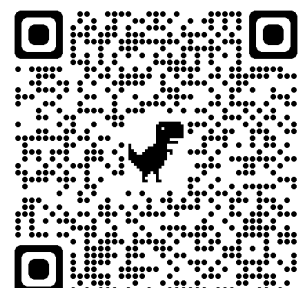
「WEBでの出願手続き」「検定料の支払い」「書類提出」のいずれか1つでも出願期間を過ぎたり不備があったりする場合は受け付けできません。また、出願手続後はいかなる事情があっても書類の変更はできません。なお、いったん納入された検定料の払戻しは行いません。

	出 願 書 類	一 般	社 会 人	備 考
1	志願者確認票	○	○	*大学出願ネット（オンライン）から印刷した様式
2	入学志願者調書（様式1）*	○	○	希望する指導（准）教授の確認印がない場合は受験不可。海外居住者は、希望指導（准）教授から送付された受入れ許諾に関するメール文面等の印刷物を、確認印の代わりとして提出することも可。
3	卒業・修了（見込）証明書	○	○	日本語又は英語の原本。
4	成績証明書	○	○	日本語又は英語であり、願書受付日前3ヵ月以内に発行された原本。
5	研究計画書（様式2）*	—	○	
6	研究業績書（様式3）*	—	△	社会人特別選抜入試博士後期課程志願者のみ。
7	大学院出願資格認定書のコピー	△	△	出願資格認定試験を受けた者のみ。
8	学歴認証報告書（英語版）	△	△	中華人民共和国の教育機関出身の者のみ。ON-LINE で発行されたものは不可。
9	英語のスコア証明書	△	—	「英語外部試験の導入について」を参照。英語のスコア証明書原本、（Duolingo English Test 認定証（写））を出願時に提出※2となっている専攻のみ対象。 国際アグリビジネス学専攻受験者については、試験当日に提出。 （出願時提出不要）
10	パスポートコピー貼付書（様式4）*	△	△	外国人志願者のみ。顔写真のページのコピーを貼付。
11	日本語能力に関する証明書のコピー ※1 必須ではない	△	△	外国人志願者のみ。日本語能力試験認定書、日本語学校等が証明する日本語の学力証明書等。

※1○印は必須、△印は該当者のみ

※2 出願書類提出後、スコア証明書の差替えを希望する者は試験当日に試験委員に提出することも可能です。

* 様式1～様式4は[東京農業大学大学院 HP \(https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form/\)](https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form/) からダウンロードしてください。



外国の大学の証明書を提出する場合の注意事項

(1) 外国における出身学校（出願資格最終学歴）が発行したもので、レターヘッド（用紙の上部に学校名、住所、電話番号）のある専用用紙に次の内容が記載されたもの（成績証明書は入学時から最近までの成績が記載されているもの）。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1) 氏名（パスポートと同一のもの） | 4) 卒業（修了）年月* |
| 2) 生年月日*（パスポートと同一のもの） | 5) 取得学位名 |
| 3) 入学年月* | 6) 証明書発行日* |

*西暦で記載のこと

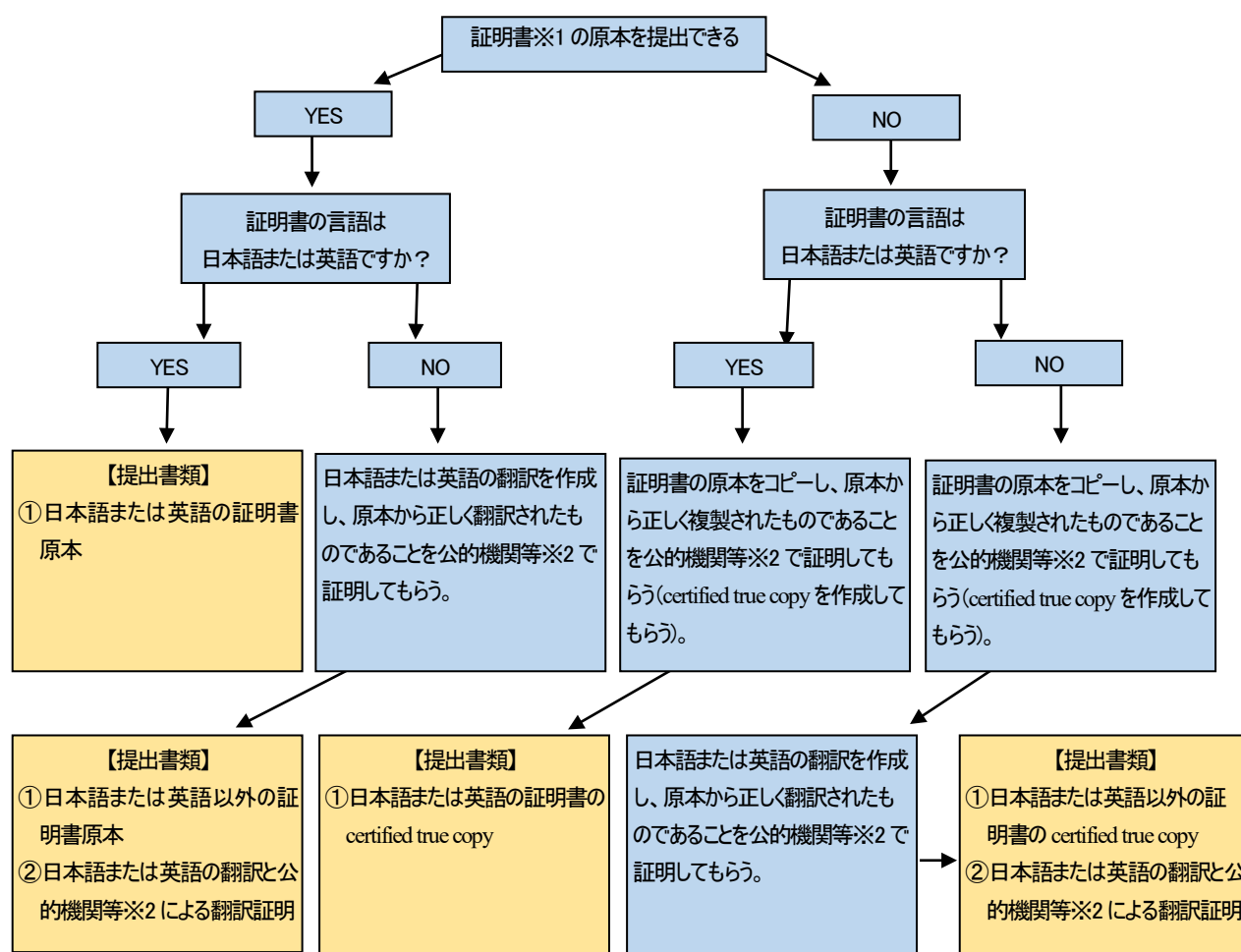
(2) 各種証明書は日本語又は英語のもののみ受け付けます。その他の言語で作成されている場合、英語又は日本語に翻訳のうえ、公的機関等（出身学校・大使館等）で原本と相違ない旨の証明を受けてください。また、インターネットを経由して入手した証明書やカラーコピーで印刷されたものは原則として受理しません。

(3) 原本が提出できない場合、公的機関等※2でcertified true copyを作成してもらい、提出してください。

(4) 1つの書類が2枚以上になる場合は、発行元において結合されているか、すべてに氏名と公印が必要になります。

(5) 中華人民共和国の教育機関出身の場合は、学歴認証報告書（英語版* ON-LINE で発行されたものは不可）も提出してください。

中国学歴・学籍認証センター（CHSI）日本代理機構 <http://www.chsi.jp>（日本語）



※1 証明書及び証書含む

※2 『公的機関等』とは、大使館や出身学校、CHSI 等を含む。

7. 試験科目 一般入試筆記試験科目表（筆記試験の他、口述試験を実施）

博士前期課程

専攻	外国語※1	専 門 科 目	
		必修科目	選択科目
農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
動物科学	英語 ※3 又は日本語から1科目を選択する。	—	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
生物資源開発学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
デザイン農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	生物機能開発学、食資源利用学、食機能科学、生活デザイン農学、社会デザイン農学のうちから入学後の研究指導を希望する専門科目1科目を選択する。
農芸化学	TOEIC スコアの提出 ※4	農芸化学基礎（生物化学、無機化学、有機化学の各科目の基礎を問う内容）	—
醸造学	英語	生化学（微生物学・分子生物学の内容を含む）	—
食品安全健康学	TOEIC スコアの提出 ※4	生物化学（分子生物学・有機化学・分析化学の内容を含む）	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	—	食品生化学、フードシステム管理学、調理科学、栄養生理学、保健栄養学、臨床栄養学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
バイオサイエンス	TOEIC スコアの提出 ※4	分子生物学	—
分子生命化学	TOEIC スコアの提出 ※4	—	分子設計学、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、分析化学、生命高分子化学のうちから2科目を試験当日に選択する。
分子微生物学	TOEIC スコアの提出 ※4	分子微生物学（微生物学、生物化学、分子生物学）	—
林学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—	森林生態学、治山緑化学、造林学、林業工学、森林経営学、森林政策学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する特論に関連した科目と他1科目を選択する。
農業工学	TOEIC L&RもしくはDuolingo English Testスコアの提出 ※5	—	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。
造園学	英語 ※3	—	造園計画・設計学（造園史含む）、造園植物・植栽学、造園施設材料・施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
地域創成科学	TOEIC スコアの提出 ※4	—	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。

国際農業開発学	英語	—	熱帯作物学、熱帯園芸学、熱帯作物保護学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
農業経済学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する1科目を含む2科目を選択する。
国際アグリビジネス初学	英語 TOEIC L&R、TOEFL iBT または IELTS Academic スコアの提出 ※6	農業経営学	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。
国際食農科学	英語	—	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
生物産業学	英語	—	作物生産管理学、植物細胞生理学、生態学、家畜生産管理学、動物バイオテクノロジーのうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
		—	水産増殖学、海洋生物学、水圏生産科学、水圏生態学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
		—	食品製造学、食品化学、生物化学、生物有機化学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
	英語（経営学・経済学）、英語（農業経営学・農業経済学）から選択する。	—	経営学、経済学のうちから1科目を選択する。 地域産業論、会計学、情報処理論、環境経済学のうちから1科目を選択する。

博士後期課程

専攻	外国語※1	専 門 科 目
農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
動物科学	英語又は日本語から1科目を選択する。	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
生物資源開発	英語又は日本語から1科目を選択する。	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
デザイン農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	生物機能開発学、食資源利用学、食機能科学、生活デザイン農学、社会デザイン農学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
農芸化学	英語	土壌肥科学、植物生産化学、栄養化学、生物有機化学、応用微生物学、食料資源理化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
醸造学	英語	醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、醸造環境科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
食品安全健康学	TOEIC スコアの提出 ※4	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	臨床栄養学、保健栄養学、栄養生理学、食品生化学、フードシステム管理学、調理科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
バイオサイエンス	TOEIC スコアの提出 ※4	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。

分子生命化学	TOEIC スコアの提出 ※4	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。
分子微生物学	TOEIC スコアの提出 ※4	資源生物工学、バイオインフォマティクス、動物共生微生物学、植物共生微生物学、複合微生物学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
林学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	森林生態学、治山緑化学、造林学、林業工学、森林経営学、林政学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
農業工学	TOEIC L&R もしくは Duolingo English Test スコアの提出 ※5	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
造園学	英語	造園計画学、造園設計学、造園植物学、造園植栽学、造園施設材料学、造園施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
地域創成科学	TOEIC スコアの提出 ※4	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。
国際農業開発学	英語	作物学、園芸学、植物病理学、応用昆虫学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
農業経済学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
国際グローバル初学	英語 TOEIC L&R、TOEFL iBT または IELTS Academic スコアの提出 ※6	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
国際食農科学	英語	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
生物産業学 (農学分野)	英語	植物資源生産学、動物資源生産学、生態学、水産増殖学、水圏生態学、海洋生物学、水圏生産科学、食品開発加工学、生物有機化学、生物化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
生物産業学 (経営学分野)	英語	経営学、経済学、農業経営学、農業経済学、情報処理のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

※3 TOEIC スコア証明書原本を出願時に提出しない場合は、従前どおりの筆記試験を受験する必要があります。

※4 TOEIC スコア証明書原本を出願時に提出することが必須。詳細については、「英語外部試験の導入について」参照。

※5 TOEIC L&R スコア証明書原本、または Duolingo English Test 認定証（写）を出願時に提出することが必須。詳細については、「英語外部試験の導入について」。

※6 TOEIC L&R、TOEFL iBT または、IELTS Academic スコアの証明書原本を大学院入学試験当日に提出することが必須。詳細については、「英語外部試験の導入について」。

8. 英語外部試験導入について

大学院入学試験（一般入試）のうち、外国語試験に英語外部試験を利用する専攻は以下のとおりです。
スコア証明書の入手には、時間がかかるため、日程に余裕をもって準備を進めてください。

- ① TOEICスコアのみ…TOEICスコア証明書原本を**出願時に提出**することが必須になりますので、事前にTOEICを受験しておく必要があります。
- ② TOEICスコアもしくは筆記試験から選択…TOEICスコア証明書原本を**出願時に提出しない場合は、従前どおりの筆記試験を受験**する必要があります。
- ③ TOEIC L&R もしくはDuolingo English Test…TOEIC L&Rスコア証明書原本、またはDuolingo English Test認定証（写）を**出願時に提出**することが必須になりますので、事前にどちらかを受験しておく必要があります。
- ④ TOEIC L&R、TOEFL iBT または、IELTS Academic …スコア証明書原本を**大学院入学試験当日に提出**することが必須になりますので、事前にいずれかを受験しておく必要があります。

研究科	専攻	課程	外国語試験				英語外部試験スコアの条件
			①TOEIC L&Rのみ	②TOEIC L&Rもしくは筆記試験から選択	③TOEIC L&RもしくはDuolingo English Test	④TOEIC L&R、TOEFL iBTまたは、IELTS Academic	その他（受験期間の制限の有無等）
農学	動物科学専攻	博士前期課程		○			・過去4年間に受験したスコアが対象 ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可
応用生物科学	農芸化学専攻	博士前期課程	○				・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい）
	食品安全健康学専攻	博士前期課程/博士後期課程	○				・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可
生命科学	バイオサイエンス専攻	博士前期課程/博士後期課程	○				・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可
	分子生命化学専攻		○				
	分子微生物学専攻		○				
地域環境科学	農業工学専攻	博士前期課程/博士後期課程			○		[TOEIC L&R] ・公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可とする ・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ※785点以上を満点とし、それ未満を換算 [Duolingo English Test] ・過去4年間に受験したスコアを対象とし、複数ある場合、提出は最高スコアでよい ※100点以上を満点とし、それ未満を換算
	造園学専攻	博士前期課程		○			・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可
	地域創成科学専攻	博士前期課程/博士後期課程	○				・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可
国際食料農業科学	国際アグリビジネス学専攻	博士前期課程/博士後期課程				○	・評価対象とするテストは、TOEIC L&R、TOEFL iBT、IELTS Academicのいずれかとし、受験期間の制限は行わない。 ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらも可とするが、オンライン受験は不可。 ・TOEFL iBTは、Home Editionも可とするが、ITPやPBTは不可。 ・IELTS academicは、ペーパー版・コンピューター版は可とするが、オンライン版は不可。また、IELTS general trainingは不可。 ・同一試験のスコアは1つのみ提出するものとするが、異なる試験のスコアを保持している場合は複数の提出を認める。

上記以外の専攻は従前どおりの筆記試験を実施します。

9. 試験当日に関して

(1) 試験時間

試験開始（口述試験は集合時間）後、30分以内に指定の会場に入室できない場合、それ以降の試験は原則受験できません。

入試制度	集合時間等※
一般入試 (10月入学・1期・2期)	世田谷・厚木 集合時間：9時30分（試験会場は9時開場） 試験開始時間：10時
一般入試 (10月入学・1期・2期)	オホーツク 集合時間：8時30分（試験会場は8時開場） 試験開始時間：9時
社会人特別選抜入試	試験時間・会場等の詳細は、メールの案内を確認してください。

※時間は変更する場合がありますので、必ずメールの案内を確認してください。

(2) 試験会場

世田谷キャンパス

東京都世田谷区桜丘 1-1-1

(応用生物科学・生命科学・地域環境科学・国際食料農業科学研究科)

厚木キャンパス

神奈川県厚木市船子 1737

(農学研究科)

北海道オホーツクキャンパス

北海道網走市八坂 196

(生物産業学研究科)

(3) 持ち物

受験票（大学大学出願ネット出願完了メールの案内に従って「受験票」を印刷し、持参。）

英語のスコア証明書（該当専攻のみ対象。p.23 参照）

(4) 不正行為

次のことをすると不正行為となることがあります。

- ① カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ② 使用を認められていない用具を使用して問題を解答すること。
- ③ 受験票(表・裏ともに)をメモ代わりに使用するなど、何らかの書き込みをすること。
- ④ 試験時間の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ⑤ 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- ⑥ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話・時計・携帯音楽プレーヤーの音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
- ⑨ 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑩ 試験室において、試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑪ 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑬ 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
- ⑭ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

10. 合格発表

東京農業大学大学院ホームページ (<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/goukaku/>) に掲載します。



(1) 発表日程 合格発表日については入学試験日程を確認してください。

(2) 合格通知及び入学手続き書類の配付等について

	合格通知	入学手続き書類
世田谷/厚木キャンパスの1期合格者	合格発表日の翌週以降 郵送	2月上旬 郵送
世田谷/厚木キャンパスの2期合格者	2月上旬 郵送	
北海道オホーツクキャンパス1期合格者	オホーツク 学生教務課窓口に取りに来てください。 (受取期間:9月19日(金)~26日(金))	2月上旬 郵送
北海道オホーツクキャンパス2期合格者	オホーツク 学生教務課窓口に取りに来てください。 (受取期間:2月16日(月)~19日(木))	2月中旬 郵送

1 1. 入学手続

(1) 入学手続期間

10月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2025年8月20日（水）

～8月21日（木）最終日必着

4月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2026年2月24日（火）～3月4日（水）最終日必着

※期間中に学費納入、書類提出がない場合は、入学を許可しません。

※郵送の場合は、簡易書留・速達で送付してください（最終日必着）。

※窓口受付時間は9時から17時までです。

(2) 学費の納入期間

10月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2025年8月12日（火）～8月21日（木）

4月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2026年2月17日（火）～3月4日（水）

(3) 入学手続提出書類

入学手続書類は、入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、郵送もしくは担当窓口へ提出してください。

- ① 入学手続書類確認票
- ② 誓約書
- ③ 新入生個人調査票
- ④ 銀行の領収印のある入学金等振込金連絡票
- ⑤ 本籍地記載の住民票、又は戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）

※外国人の場合は国籍、在留資格及び在留期間が記載された住民票。

※手続期限から3ヵ月以内に発行されたもの。

- ⑥ 卒業（修了）証明書

（本学の卒業・修了（見込）生、及び出願時に提出済の方は必要ありません。）

(4) 入学辞退について

入学を辞退する場合は学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツクキャンパス学生教務課に申し出のうえ、「入学辞退届」を期限までに提出してください。

入学辞退届提出期限：

10月入学者は8月21日（木）、4月入学者は3月4日（水）

また、入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還しますので、各キャンパス窓口に申し出のうえ「入学金を除く納付金返還請求書」を10月入学者は9月4日（木）、4月入学者は3月13日（金）までに提出してください。なお、やむを得ず期日を過ぎる場合は、10月入学者は9月30日（火）12時、4月入学者は3月27日（金）12時を最終期限とします。

12. 学費 (入学生納付金) 大学院奨学生制度については次項を参照してください。

研究科	課程	専攻名	大 学 納 付 金					その他の 諸会費	総 計
			入学金	授業料	実験実習演習費	整備拡充費	学生厚生費		
農 学	博 士 前 期	農学専攻	270,000	660,000	289,000	210,000	20,600	20,000	1,469,600
		動物科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		生物資源開発学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		デ`ザ`イン農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博 士 後 期	農学専攻	270,000	760,000	318,000	210,000	20,600	20,000	1,598,600
		動物科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		生物資源開発学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		デ`ザ`イン農学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
応 用 生 物 科 学	博 士 前 期	農芸化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		醸造学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品安全健康学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品栄養学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博 士 後 期	農芸化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		醸造学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品安全健康学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品栄養学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
生 命 科 学	博 士 前 期	バ`イオサイエンス専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子生命化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子微生物学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
	博 士 後 期	バ`イオサイエンス専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子生命化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子微生物学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
地 域 環 境 科 学	博 士 前 期	林学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		農業工学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		造園学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		地域創成科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博 士 後 期	林学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		農業工学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		造園学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		地域創成科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
国 際 食 料 農 業 科 学	博 士 前 期	国際農業開発学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		農業経済学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際ア`グ`リ`ビ`シ`ズ専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際食農科学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
	博 士 後 期	国際農業開発学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		農業経済学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際ア`グ`リ`ビ`シ`ズ専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際食農科学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
生 物 産 業 学	博 士 前 期	北方圏農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		海洋水産学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食香粧化学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		自然資源経営学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
	後 博 期 士	生物産業学専攻（農学分野）	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		生物産業学専攻（経営学分野）	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600

備考 1. 大学納付金の消費税は非課税。

2. その他の諸会費の内訳は、(1) 農友会費1万円、(2) 教育後援会費1万円。

【参考】次年次以降、納付する学費等について（予定）

（博士前期課程は引き続き博士後期課程に進学した場合を含む）

研究科	課程	専攻名	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費
農学	博士前期	農学専攻	2	710,000	318,000	190,000	1	760,000	318,000	190,000	2	810,000	318,000	190,000	3	860,000	318,000	190,000
		動物科学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		生物資源開発学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		デザイン農学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	農学専攻	2	810,000	318,000	190,000	3	860,000	318,000	190,000								
		動物科学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		生物資源開発学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		デザイン農学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
応用生物科学	博士前期	農芸化学専攻	2	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000
		醸造学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		食品安全健康学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		食品栄養学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	農芸化学専攻	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000								
		醸造学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		食品安全健康学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		食品栄養学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
生命科学	博士前期	バイオサイエンス専攻	2	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000
		分子生命化学専攻		710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000
		分子微生物学専攻		710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000
	博士後期	バイオサイエンス専攻	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000								
		分子生命化学専攻		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000								
		分子微生物学専攻		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000								
地域環境科学	博士前期	林学専攻	2	710,000	320,000	190,000	1	760,000	320,000	190,000	2	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000
		農業工学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		造園学専攻		710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000
		地域創成科学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	林学専攻	2	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000								
		農業工学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		造園学専攻		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000								
		地域創成科学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
国際食料農業科学	博士前期	国際農業開発学専攻	2	710,000	280,000	190,000	1	760,000	280,000	190,000	2	810,000	280,000	190,000	3	860,000	280,000	190,000
		農業経済学専攻		710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000
		国際アグリビジネス学専攻		710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000
		国際食農科学専攻		710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000
	博士後期	国際農業開発学専攻	2	810,000	280,000	190,000	3	860,000	280,000	190,000								
		農業経済学専攻		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								
		国際アグリビジネス学専攻		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								
		国際食農科学専攻		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000								
生物産業学	博士前期	北方圏農学専攻	2	710,000	320,000	190,000												
		海洋水産学専攻		710,000	320,000	190,000												
		食香粧化学専攻		710,000	320,000	190,000												
		自然資源経営学専攻		710,000	155,000	180,000												
	後博士	生物産業学専攻（農学分野）	2	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000								
		生物産業学専攻（経営学分野）		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								

- 備考 1. 本大学院博士前期課程から博士後期課程へ継続して進学する場合、①入学金不要、②整備拡充費は博士前期課程2年次と同額。
2. 2年次以降の学生厚生費及びその他の諸会費は入学年次の金額と同額。
3. 留年生（原級、復学を含む）の授業料、実験実習演習費は、その在籍する該当年次生の入学時に定められた金額を適用する。

1 3. 大学院奨学生制度

本大学院には人物、学業ともに優秀な学生に対し、経済援助を行うことにより、学術研究の奨励と有為な人材育成に資することを目的に大学院奨学生規程が制定されています。

大学院奨学生規程の概略は次のとおりです。

◎東京農業大学大学院奨学生

(1) 第一種奨学生

- ①博士前期課程及び博士後期課程在籍者を対象とします。
- ②奨学金額は授業料の2分の1及び整備拡充費の2分の1でその相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程2年間、博士後期課程3年間とします。ただし長期履修生にあっては、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は該当者全員とします。
- ⑤外国人留学生のうち文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

(2) 第二種奨学生

- ①東京農業大学学部卒業生であって大学院に入学した者とします。
- ②奨学金額は入学時入学金を免除することによって支給します。
- ③奨学生の採用人数は該当者全員とします。

(3) 第三種奨学生

- ①博士前期課程の私費外国人留学生で、成績及び人物優秀かつ経済的に修学困難な者とし、東京農業大学学部に4年以上在学して卒業した者又は海外協定校を卒業した者を対象とします。
- ②奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程及び修士課程2年間とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は当該専攻の入学定員の2分の1以内とします。
- ⑤文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

◎東京農業大学大学院／学びて後足らざるを知る奨学生

- ①東京農業大学学部に4年以上在学(編入学者は東京農業大学短期大学部の在学期間を含む。)して卒業し、本学大学院博士前期課程及び修士課程を修了し、本学大学院博士後期課程に在学している者とします。
- ②本奨学金の趣旨を理解し、本学の実学教育研究の担い手となる教員や研究者等の後継者を志す者とします。
- ③人物及び学業成績が優秀な者とします。
- ④奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ⑤奨学金支給期間は3年間を限度とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間を限度とします。

※奨学生の注意事項

- ①奨学生は休学・退学する、又は除籍されると資格を失うので注意してください。
- ②奨学生の継続は、毎年審査のうえ、決定します。成績不良の者・素行不良の者・懲戒処分を受けた者は資格を失うことがあるので注意してください。
- ③第一種奨学生と第二種奨学生は重複することがあります。

詳細は、大学院ホームページ「学費・奨学生制度 <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/life/entrance-fee/>」を確認してください。

14. 出願資格認定

本学大学院入学試験に出願する前に、出願資格を有しているかを p. 15 で必ず確認してください。
出願資格のうち、博士前期課程の(9)(10)(11)、博士後期課程の(6)により出願を希望する場合は、事前に
出願資格認定を受けてください。出願資格(1)～(8)に該当する人は認定を受ける必要はありません。

【博士前期課程】(p. 15 より抜粋)

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、
大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績
で修得したと認めたもの

【博士後期課程】(p. 15 より抜粋)

- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳
に達した者。

出願資格認定を希望する場合は、希望する指導（准）教授の内諾を得たうえで、学務課、厚木学生教
務課または北海道オホーツク学生教務課に申し出て書類を受け取り、提出書類を期間内に提出してくだ
さい。

なお、出願資格認定試験は専攻ごとに実施しますので、試験日等は専攻に問合わせてください。

(1) 提出書類

- 1) 出願資格認定試験申込書（本学所定様式）
- 2) 履歴書（本学所定様式）
- 3) 最終学歴証明書
- 4) 最終学歴成績証明書
- 5) 返信用封筒（長形 3 号／資格認定結果通知送付先宛名を記載し、返信用切手 110 円分を貼付の
こと）

※博士後期課程志願者のみ 6)～8) も提出

- 6) 研究計画書（本学所定様式）
- 7) 研究業績書（本学所定様式）
- 8) 推薦書（本学所定様式）

※「最終学歴証明書（卒業証明書）」「最終学歴成績証明書」は書類受付日前 3 ヶ月以内に発行された
ものに限りです。

※外国の大学・大学院で発行された証明書については p. 18 を確認してください。

※書類受理後はいかなる事情があっても書類の変更は受け付けません。

(2) 出願書類の提出について

市販の角形 2 号 (240×332 ミリ) 封筒の表に本学所定様式『出願用封筒貼付ラベル』を貼付して、**簡易
書留郵便・速達**で郵送（最終日必着）もしくは学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツク学生教
務課へ、以下の期間に提出してください。

10 月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2025 年 4 月 15 日（火）～17 日（木）最終日必着

1 期入試

世田谷・厚木キャンパス：2025 年 4 月 15 日（火）～17 日（木）最終日必着

北海道オホーツクキャンパス：2025 年 6 月 16 日（月）～ 19 日（木）最終日必着

2 期入試

世田谷・厚木キャンパス：2025 年 10 月 7 日（火）～ 9 日（木）最終日必着

北海道オホーツクキャンパス：2025 年 11 月 10 日（月）～13 日（木）最終日必着

（3）資格認定結果の通知

結果については、申請者宛に郵送により通知します。

「大学院出願資格認定書」は出願の際に必要となりますので、大切に保管してください。

15. 長期履修制度

本学では、職業等に従事しながら学習を希望する者等に対する学習機会の一層の拡大を行うことで、社会人学生等の入学促進と大学院教育及び研究の多様化を図るために長期履修制度を実施しています。**希望者は、あらかじめ指導教員に相談した上で、出願書類と併せて長期履修関連書類を出願期間内に提出してください。**長期履修関連書類は各キャンパス窓口で配布していますので、事前に問合せてください。

※出願書類提出時以外は申請できません。

（1）出願資格

下記のいずれかに該当する者とします。

- ① 企業等の常勤の職員又は自ら事業を行っている者
- ② 協定締結されたダブルディグリープログラムを希望する者
- ③ 他機関が実施する事業・プログラムへの参加を希望する者
- ④ その他、長期履修することが必要と認められた者

（2）履修期間 ※一旦許可された履修期間は変更できません。

博士前期課程：4 年以内

博士後期課程：6 年以内

（3）学費

標準修業年限分の学納金に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付となります。

（4）その他

入学時期は 4 月のみとなります。

16. 個人情報保護について

本学では個人情報の取扱いについて、「学校法人東京農業大学個人情報保護方針」及び「学校法人東京農業大学個人情報保護規程」に則り、適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。また、本学で取り扱う個人情報は、教育研究及び学生の支援等に必要な業務を遂行するために利用し、当該の目的以外での使用はしません。なお、詳細については東京農業大学ホームページをご参照ください。

— 問い合わせ —

業務は大学指定の休日を除く（月）～（金）の8:30-17:00

< 世田谷キャンパス >

（応用生物科学研究科・生命科学研究科・地域環境科学研究科・国際食料農業科学研究科）

学務課

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

☎ 03-5477-2240

✉ innogaku@nodai.ac.jp

< 厚木キャンパス >

（農学研究科）

学生教務課

〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737

☎ 046-270-6225

✉ agri@nodai.ac.jp

< 北海道オホーツクキャンパス >

（生物産業学研究科）

学生教務課

〒099-2493 北海道網走市八坂 196

☎ 0152-48-3813

✉ o-kyomu@nodai.ac.jp